

# 横浜市立病院中期経営プラン2023-2027の 令和7年度振り返り等について

|     |                                |         |
|-----|--------------------------------|---------|
| 1   | 概要                             | .....2  |
| 2   | 振り返りと点検・評価                     | .....3  |
| 2-1 | 市民病院                           | .....4  |
| 2-2 | 脳卒中・神経脊椎センター                   | .....8  |
| 3   | 指定管理業務実施状況の点検・評価結果<br>みなと赤十字病院 | .....12 |

# 1 概要

- 市立病院は、平成17年度から地方公営企業法を全部適用する公営企業として、経営計画を策定し、政策的医療を中心とした医療機能の充実を図るとともに、経営力の強化を進めています。
- 令和7年度においても、「横浜市立病院中期経営プラン2023-2027」  
(以下、中期経営プラン)に基づいた取組を進めており、達成状況の振り返りと評価を  
行いました。
- 日本赤十字社を指定管理者とする、みなと赤十字病院については、例年同様に  
本市との基本協定に基づき点検・評価を実施しました。
- 中期経営プランの振り返り等にあたっては、外部委員で構成される  
「横浜市立病院経営評価委員会」による点検・評価を受け、その結果を各病院の運営に  
生かしていくこととしています。

## 2 振り返りと点検・評価

### ■点検・評価結果 市民病院

| 7年度<br>振り返り実績     | 項目<br>数 | 評価 |    |    |   |
|-------------------|---------|----|----|----|---|
|                   |         | A  | B  | C  | D |
| (1)医療機能の充実        | 34      | 11 | 6  | 17 | 0 |
| (2)地域医療全体への<br>貢献 | 8       | 6  | 1  | 1  | 0 |
| (3)経営力の強化         | 12      | 1  | 7  | 4  | 0 |
| (4)人材育成           | 3       | 1  | 2  | 0  | 0 |
| 合 計               | 57      | 19 | 16 | 22 | 0 |

### 脳卒中・神経脊椎センター

| 7年度<br>振り返り実績     | 項目<br>数 | 評価 |    |    |   |
|-------------------|---------|----|----|----|---|
|                   |         | A  | B  | C  | D |
| (1)医療機能の充実        | 16      | 2  | 7  | 7  | 0 |
| (2)地域医療全体への<br>貢献 | 8       | 2  | 4  | 2  | 0 |
| (3)経営力の強化         | 17      | 2  | 5  | 10 | 0 |
| (4)人材育成           | 2       | 0  | 1  | 1  | 0 |
| 合 計               | 43      | 6  | 17 | 20 | 0 |

### 【点検・評価の基準】

A:年度目標を大幅に上回る成果あり又は当初のスケジュールを大幅に短縮して実現

B:年度目標を概ね達成(件数等は5%の範囲内)

C:年度目標を達成できず又は当初のスケジュールから遅れ

D:年度目標を大幅に下回る又は当初のスケジュールから大幅に遅延

## 2-1 振り返りと点検・評価（市民病院）

### ■医療機能の充実

#### ○がん医療

- ・「遺伝子パネル検査件数」はコンパニオン診断への置き換わり等により、目標未達(C)
- ・「遺伝カウンセリング件数」は出生前診断の開始により、想定を上回り目標達成(A)
- ・「外来化学療法件数」は、患者の症状に応じて入院による治療に切り替える選択肢を案内した結果、外来件数は減少【目標未達(C)】したが、外来・入院を合わせた件数は増加
- ・「緩和ケア新規入院患者数」についてもホームページに入棟待機者数を表示するなどの対策を実施することにより目標達成(A)

#### ○救急医療

- ・「救急車受入件数」は市全体の救急出動件数の減少に伴い、目標未達(C)

救急搬送の断り事例の分析や関係診療科の医師による消防署の訪問を実施

※遺伝子パネル検査：数十から数百個の患者の遺伝子の異常を一度に調べ、結果を総合的に判断して最適ながん治療法を探る検査  
※コンパニオン診断：患者の遺伝子から、特定の遺伝子の変化を標的として作用する治療薬（分子標的薬）の効果を事前に調べる検査

## 2-1 振り返りと点検・評価（市民病院）

### ○予防医療

- ・「がん検診件数」は減少傾向であったため【目標未達(C)】、より受診しやすくなるよう令和8年1月から新たに検診枠を拡大
- ・「人間ドック件数」は、肺ドックなどの新規メニューの追加や好評の肝胆膵ドックの増枠により受診者が増加し、目標達成(A)

### ■地域医療全体への貢献

- ・LINEを活用した初診予約システムの導入や入院時支援のための説明用動画の導入などにより、「紹介率」、「入院時支援加算算定件数」等の目標達成(A)
- ・職員の講師派遣件数は、関係機関と連携を図り、乳幼児健診や各審査会の委員、地域の医療関係者への講演会等を行い、前年度より件数は増加したものの、目標は未達(C)

## 2-1 振り返りと点検・評価（市民病院）

### ■経営力の強化

- ・「経常収支」は、対前年度比で約8億6千万円収支が改善したものの物価高騰や人件費高騰の影響を受け、5億1千8百万円の赤字【目標未達(C)】
- ・診療報酬請求の精度向上などの基本動作の徹底や令和8年診療報酬改定への確実かつ迅速な対応により収益確保を強化
- ・高騰が続く医薬品及び診療材料の使用方法の見直しや業務効率化による超過勤務時間の削減等により、経費削減を一層強化

### ■人材育成

- ・「職員やりがい度」については、事務改善等に取り組んだ結果、各項目が前年度より向上し、中期経営プラン期間中初めて目標を達成(B)
- ・新入職員のフォローアップ研修回数増などにより、低い「離職率」を維持(A)

## 2-1 振り返りと点検・評価（市民病院）

### 【経営評価委員会からの主な意見】

- がん医療の項目で目標未達が多くなっているため、総合病院として地域医療機関との連携強化に期待
- 心大血管治療の実績向上については病院の努力の成果として評価
- 予防医療におけるフレイルドックやWEB予約システムについては、導入効果の検証を期待
- LINE予約システムは患者の受診行動の障壁を下げる有効な取組として評価
- 収支改善と医業収益の目標達成は評価できる成果
- 新規入院患者数の拡大は喫緊の課題という病院の認識は妥当
- 入院患者満足度の目標達成は病棟単位の改善活動の成果として高く評価
- 超過勤務対策や職員の声を改善につなげる仕組みが機能している点を評価

## 2-2 振り返りと点検・評価（脳卒中・神経脊椎センター） 横浜市

### ■医療機能の充実

#### ○救急車搬送患者数

- ・救急隊との連携強化に継続して取り組みつつ「断らない救急」を実践し、目標達成(A)

#### ○脳血管疾患医療

- ・「t-PA静注療法実施件数」、「経皮的脳血栓回収術実施件数」、「脳血管内手術実施件数」等について、脳卒中患者への入院治療件数は増えているものの、予後改善に最適な治療を選択し提供した結果、指標とする項目については目標未達(C)

#### ○リハビリテーション

- ・「回復期リハビリテーション病棟におけるアウトカム評価」については、関連部門が連携しADL向上と在棟期間の管理に努め、目標達成(A)

## 2-2 振り返りと点検・評価（脳卒中・神経脊椎センター）

### ○整形外科

- ・「整形外科手術件数」について、脊椎手術の実績が前年度水準を維持するなど、概ね目標達成(B)
- ・引き続き、要介護の大きな要因の一つである運動器疾患に対応し、市民の健康寿命延伸に取り組む

### ■地域医療全体への貢献

- ・「サブアキュート患者受入人数」(神経難病患者のレスパイト入院も含む)、「ポストアキュート患者受入人数」は地域の医療機関等との連携に努め、概ね目標達成(B)

※サブアキュート：在宅や介護施設等で症状が急に悪化した状態

ポストアキュート：急性期での治療後も引き続き入院医療を要する状態

## 2-2 振り返りと点検・評価（脳卒中・神経脊椎センター）

### ■経営力の強化

- ・「手術件数」について夏期に血管撮影装置の更新による中断期間もあり、主に脳血管内カテーテル手術の減少により、目標未達(C)
- ・「給与費・経費対医業収益比率」について、給与改定による給与費の増加、賃金水準上昇によるスライド条項適用に伴う委託料の増加等により、医業収益に対する給与費・経費の比率は上昇し、目標未達(C)

### ■人材育成・活力ある職場づくりに向けた取組

- ・「職員やりがい度」については、「現在の仕事にやりがいがある」の満足度は他病院比較で+1.7ポイント高くなるも、目標未達(C)

## 2-2 振り返りと点検・評価（脳卒中・神経脊椎センター）

### 【経営評価委員会からの主な意見】

- 「断らない救急」の徹底により過去最多の救急車搬送患者受入数を達成したことを高く評価
- 脳卒中医療において市内トップクラスの実績維持を評価
- 入院・外来患者満足度の低下を懸念
- 急性期病院からの後方搬送患者受入れ強化を期待
- サブアキュート患者や神経難病患者の受入れなど後方支援病院としての役割発揮を評価
- 医療・介護施設との連携強化による更なる受入れ拡大を期待
- 病床稼働率の低迷を背景とした収益構造悪化を強く懸念
- 地域診療所への働きかけ強化による紹介患者確保を期待
- 職員やりがい度の低下に懸念、特に勤務条件への満足度低下を注視する必要性

### 3 指定管理業務実施状況の点検・評価結果（みなと赤十字病院）

#### (1) 点検・評価の結果

| 項目                         | 点検・評価項目数【 】内、○とした数 |      |
|----------------------------|--------------------|------|
| 合計                         | 130【130】           |      |
| 1 診療関係(標ぼう診療科、患者数等)        | 2                  | 【2】  |
| 2 検診関係(横浜市がん検診、人間ドック)      | 2                  | 【2】  |
| 3 政策的医療(救急、アレルギー疾患、精神科救急等) | 60                 | 【60】 |
| 4 地域医療全体の質の向上に向けた役割(紹介率等)  | 33                 | 【33】 |
| 5 利用料金(収入状況の適切な報告等)        | 9                  | 【9】  |
| 6 施設、設備等の維持管理、管理の原則        | 12                 | 【12】 |
| 7 施設等の改良、改修及び保守・修繕         | 4                  | 【4】  |
| 8 物品の移設及び管理                | 4                  | 【4】  |
| 9 目的外使用の申請                 | 1                  | 【1】  |
| 10 受託研究の実施                 | 2                  | 【2】  |
| 11 院内学級の運営                 | 1                  | 【1】  |

### 3 指定管理業務実施状況の点検・評価結果（みなと赤十字病院）

#### (2) 主な取組等

- 救急医療において、前年度に引き続き全国トップクラスの救急車搬送による受入患者数を維持
- アレルギー疾患医療において、新たに市民向けイベントとして「こどもの食物アレルギー市民フォーラム」を開催
- 指定管理者独自の取組として、職員の業務負担軽減に資する自動搬送ロボットの導入や、患者の利便性向上に向け、Web予約システム、診療費後払いシステムの導入などの取組を実施 ※点検・評価対象外
- 地域医療全体の質の向上に向けた取組については、紹介件数は24,395件で、前年度より340件増加するとともに、逆紹介件数は29,294件で、前年度より2,051件増加し、紹介・逆紹介件数ともに過去最高件数を達成

### 3 指定管理業務実施状況の点検・評価結果（みなと赤十字病院）

#### 【経営評価委員会からの主な意見】

- 点検評価対象130項目すべてが適切に実施されていることを高く評価
- 全国トップクラスの救急受入実績を維持していることを高く評価
- 紹介・逆紹介件数の過去最高達成など地域医療への貢献を評価
- 経常黒字の評価に当たっては医業収支の動向にも注視が必要との指摘

# 「横浜市立病院中期経営プラン2023-2027」 令和7年度の振り返りと点検・評価

令和8年8月

横浜市医療局病院経営本部

## 病院ごとの振り返り

### 1 市民病院

### 2 脳卒中・神経脊椎センター

# 1 市民病院

## ■令和7年度振り返り実績



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

| 7年度<br>振り返り実績 | 項目<br>数 | 評価 |    |    |   |
|---------------|---------|----|----|----|---|
|               |         | A  | B  | C  | D |
| 医療機能の充実       | 34      | 11 | 6  | 17 | 0 |
| 地域医療全体への貢献    | 8       | 6  | 1  | 1  | 0 |
| 経営力の強化        | 12      | 1  | 7  | 4  | 0 |
| 人材育成          | 3       | 1  | 2  | 0  | 0 |
| 合 計           | 57      | 19 | 16 | 22 | 0 |

### 【点検・評価の基準】

A:年度目標を大幅に上回る成果あり又は当初のスケジュールを大幅に短縮して実現

B:年度目標を概ね達成(件数等は5%の範囲内)

C:年度目標を達成できず又は当初のスケジュールから遅れ

D:年度目標を大幅に下回る又は当初のスケジュールから大幅に遅延

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○がん医療

<目標と実績①>

| 具体的な目標・達成項目     | 6年度実績 | 7年度目標              | 7年度実績 | 自己評価 |
|-----------------|-------|--------------------|-------|------|
| 遺伝子パネル検査件数（件）   | 53    | 100                | 43    | C    |
| 遺伝子カウンセリング件数（件） | 36    | 30                 | 190   | A    |
| がん看護外来指導件数（件）   | 703   | 760<br>【520】       | 633   | C    |
| がんリハビリ件数（件）     | 8,311 | 12,000<br>【14,200】 | 8,382 | C    |
| 悪性腫瘍手術件数（件）     | 1,092 | 1,244              | 1,089 | C    |

※目標値の下段【】内はプラン策定時の目標値です。【次ページ以降同じ】

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○がん医療

<目標と実績②>

| 具体的な目標・達成項目    | 6年度実績 | 7年度目標            | 7年度実績 | 自己評価 |
|----------------|-------|------------------|-------|------|
| 外来化学療法件数（件）    | 5,245 | 6,000<br>【6,500】 | 5,089 | C    |
| 放射線治療患者数（人）    | 670   | 750<br>【650】     | 710   | C    |
| うちIMRT患者数（人）   | 420   | 490<br>【460】     | 475   | B    |
| うちSRT患者数（人）    | 143   | 130<br>【100】     | 119   | C    |
| 緩和ケア新規入院患者数（人） | 265   | 290              | 337   | A    |

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○がん医療

- ・ 遺伝子パネル検査件数（C）、遺伝カウンセリング件数（A）：特定のがん種・臨床場面では、他のコンパニオン診断に置き換わっているなど、検査件数が増加しづらい状況。一方、遺伝カウンセリングは、出生前診断の開始により、想定を上回る実績
- ・ 外来化学療法件数（C）：患者の症状に応じて入院による治療に切り替える選択肢を案内した結果、外来件数は減少したものの、外来・入院を合わせた件数は増加

※遺伝子パネル検査：数十から数百個の患者の遺伝子の異常を一度に調べ、結果を総合的に判断して最適ながん治療法を探る検査

※コンパニオン診断：患者の遺伝子から、特定の遺伝子の変化を標的として作用する治療薬（分子標的薬）の効果を事前に調べる検査

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○がん医療

- ・緩和ケア新規入院患者数（C→A）：ホームページに入棟待機者数を表示するなどの対策を実施。引き続き、地域医療機関との連携強化や院内がん患者との積極的な面談実施などを進め、より多くのがん患者に充実した緩和ケア医療を提供

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○心血管疾患・脳卒中医療

<目標と実績>



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

| 具体的な目標・達成項目     | 6年度実績  | 7年度目標              | 7年度実績  | 自己評価 |
|-----------------|--------|--------------------|--------|------|
| 心臓・大血管手術件数（件）   | 90     | 90                 | 133    | A    |
| うちTAVI件数（件）     | 27     | 30                 | 45     | A    |
| t-P A対応件数（件）    | 18     | 25                 | 21     | C    |
| 脳血管内治療件数（件）     | 149    | 185<br>【121】       | 172    | C    |
| うち血栓回収術（件）      | 35     | 38                 | 46     | A    |
| 心大血管疾患リハビリ件数（件） | 14,133 | 12,500<br>【14,700】 | 14,926 | A    |
| 脳血管疾患等リハビリ件数（件） | 41,195 | 39,500<br>【48,600】 | 42,392 | A    |

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○心血管疾患・脳卒中医療

- ・心臓・大血管手術件数（T A V I 含む）（A）：地域との顔の見える関係づくりを進め、ハイブリッド手術室の活用など、紹介や急患に積極的に対応
- ・t - P A 対応件数（C）、脳血管内治療件数（C）：救急搬送件数の減少に伴う影響。引き続き、消防署訪問による意見交換を実施
- ・心大血管疾患リハビリ件数（A）：他職種がチームとして連携し、効果的な治療計画と地域医療機関との連携を強化
- ・脳血管疾患等リハビリ件数（A）：早期リハビリに向け、リハビリテーション科と脳疾患関連の診療科との連携強化

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○救急医療

<目標と実績>

| 具体的な目標・達成項目     | 6年度実績  | 7年度目標            | 7年度実績 | 自己評価 |
|-----------------|--------|------------------|-------|------|
| 救急車受入件数（件）      | 8,621  | 9,300<br>【7,000】 | 7,811 | C    |
| ウォークイン件数（件）     | 10,999 | 10,000           | 8,985 | C    |
| 心臓血管ホットライン件数（件） | 392    | 500              | 442   | C    |
| 脳卒中ホットライン件数（件）  | 287    | 350              | 322   | C    |

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○救急医療

- ・救急車受入件数（C）：市全体の救急出動件数の減少に伴い、目標未達  
応需率向上に向け、毎朝、救急搬送の断り事例を分析し、課題解決に向  
けた関係診療科との話し合いを継続。救急隊から当院への搬送連絡を増  
やすため、関係診療科の医師が消防署を訪問し、救急搬送の状況に関し  
て意見交換を実施
- ・心臓血管ホットライン件数（C）、脳卒中ホットライン件数（C）：  
件数は前年度より増加。地域医療機関との連携をより一層強化し、引き  
続き、地域医療機関からの受入れ要請に積極的に対応

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○小児・周産期医療

<目標と実績>

| 具体的な目標・達成項目    | 6年度実績 | 7年度目標            | 7年度実績 | 自己評価 |
|----------------|-------|------------------|-------|------|
| 小児科救急車受入件数（件）  | 1,657 | 1,250            | 1,521 | A    |
| 分娩件数（件）        | 1,148 | 1,200<br>【1,400】 | 1,213 | B    |
| うち無痛分娩（件）      | 143   | 200<br>【50】      | 278   | A    |
| N I C U延患者数（人） | 3,003 | 3,290            | 3,064 | C    |

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○小児・周産期医療

- ・小児科救急車受入件数（A）：小児救急拠点病院として小児科救急車の積極的な受け入れを実施
- ・分娩件数（B）：地域のクリニックと連携したセミオープンシステムを採用しており、出生数が減少傾向にある中で、毎月100件前後の分娩数を維持
- ・無痛分娩件数（A）：妊産婦の需要を踏まえ、無痛分娩の枠を拡充し、実施件数が増加。産婦人科、麻酔科、助産師、周麻酔看護師など十分な人員体制のもと分娩管理を実施
- ・NICU延患者数（C）：ハイリスク分娩の受入れ等により、前年度より微増し、病床稼働率も90%を超過

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○感染症医療・新興感染症対応

| 具体的な目標・達成項目         | 6年度実績 | 7年度目標 | 7年度実績 | 自己評価 |
|---------------------|-------|-------|-------|------|
| 院外向け感染症関連研修会（回）     | 7     | 7     | 10    | B    |
| H I V感染症関連講師派遣件数（件） | 2     | 2     | 1     | C    |

- ・ 感染症指定医療機関として、手指衛生やアウトブレイクの防止等をテーマにした地域医療機関との研修会や一般市民向けの啓発を実施
- ・ 神奈川県エイズ治療中核拠点病院として、横浜市立大学附属病院と連携し、H I V・A I D Sに関連する研修会の開催や、地域医療機関への講師派遣を行うなど、教育・啓発活動を推進。講師派遣依頼の申込が減り、目標は未達

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○災害医療

#### <目標と実績>

| 具体的な目標・達成項目   | 6年度実績 | 7年度目標 | 7年度実績 | 自己評価 |
|---------------|-------|-------|-------|------|
| 職員防災訓練実施回数（回） | 12    | 12    | 12    | B    |
| 総合防災訓練の実施     | 実施    | 実施    | 実施    | B    |

- ・各病棟で毎月初動訓練を実施し、減災チェック、無線通話試験、担架の使用方法等、基本事項の確認を積み上げるとともに、机上訓練も実施
- ・11月の院内総合防災訓練では、神奈川・保土ヶ谷両区医師会・区役所も参加の上、発災から災害対策本部設置までの机上訓練後、トリアージエリア設置の実働訓練を実施

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○予防医療

<目標と実績>



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

| 具体的な目標・達成項目         | 6年度実績 | 7年度目標       | 7年度実績 | 自己評価 |
|---------------------|-------|-------------|-------|------|
| がん検診件数（件）           | 9,784 | 10,400      | 9,159 | C    |
| 人間ドック件数（件）          | 412   | 400         | 628   | A    |
| フレイルロコモ骨粗鬆症検診等件数（件） | 12    | 50<br>【120】 | 32    | C    |

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○予防医療

- ・がん検診件数（C）：前年度よりも件数が減少傾向であったこともあり、より受診しやすくするため1月から新たに検診枠を拡大
- ・人間ドック件数（A）：肺ドックなどの新規メニューの追加や好評の肝胆膵ドックの増枠により受診者が増加
- ・フレイルロコモ検診（C）：骨粗鬆症検診の需要が低下していたため、10月から、利用しやすい価格帯で、教室形式のフレイルドック「はまフレ」を開始（開催方式の変更）

# 1 市民病院

## ■医療機能の充実

### ○国際化

<目標と実績>

| 具体的な目標・達成項目   | 6年度実績              | 7年度目標        | 7年度実績 | 自己評価 |
|---------------|--------------------|--------------|-------|------|
| 外国人患者数（人）     | 365                | 280<br>【570】 | 392   | A    |
| J M I P 認証の更新 | 更新審査受審<br>< 1 回目 > | 体制拡充         | 体制拡充  | B    |

- ・医療通訳タブレットの新機能である逆翻訳機能の院内周知を行うとともに、通訳ツール一覧を再周知
- ・「国際医療支援委員会」を新たに設置し、優先度の高い課題から検討を進め、診察時の通訳方法の記録等に関する統一的な対応を制定

# 横浜市立病院経営評価委員会からの主な意見



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

## 1 市民病院

### ■医療機能の充実

- ・がん医療の多くで目標未達が続いており、総合病院として地域医療機関との連携強化に期待
- ・遺伝子パネル検査、がんリハビリ等の継続的未達を踏まえ、治療実態を適切に捉える指標への見直しを要望
- ・遺伝カウンセリングの実績増加を踏まえ、環境変化を反映した目標設定プロセスの整備を期待
- ・心大血管治療の実績向上については病院の努力の成果として評価
- ・救急医療について政策的役割を適切に評価できる指標体系の検討を提言
- ・フレイルドックやWEB予約システムについては、導入効果の検証充実に期待

# 横浜市立病院経営評価委員会からの主な質問と回答



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

## 1 市民病院

### ■医療機能の充実

- |          |                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>問</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・がん医療についての自己評価でCが多いが、化学療法の入院化などにより外来化学療法患者の減少が原因でしょうか。</li></ul>                                                                                                                           |
| <p></p>  | <ul style="list-style-type: none"><li>・がんリハビリについての目標と実績のギャップが大きい。目標設定は正しい論理やデータを元に作られたのでしょうか。</li></ul>                                                                                                                          |
| <p>答</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・化学療法を患者さんの病状に応じて入院に切り替えていることはC評価が多いことの一つの要素となっています。</li><li>・がん医療の対象となる患者さんの受入れが伸び悩んでいることも原因の一つです。そのため、がん患者さんが多い消化器疾患の診療において、医師の増員や関連診療科との連携を促進し、的確な診断と治療方針の決定を行うなど、体制強化を図っています</li></ul> |

# 横浜市立病院経営評価委員会からの主な質問と回答



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

## 1 市民病院

### ■医療機能の充実

答 ・がんのリハビリに関しては、患者さんの様態に合わせたより適切な疾患別リハビリに移行させていることから、がんリハビリの実績としては目標と乖離が生じています。（全体としては、増加傾向）  
・上記の状況を踏まえ、令和8年度のがんリハビリの目標件数を修正するとともに、リハビリ合計の目標を設定します。

単位：件 下段は実績、上段【 】内は目標

|         | R6                | R7                | R8        | R9        |
|---------|-------------------|-------------------|-----------|-----------|
| リハビリ合計  | 92,793            | 98,191            | 【100,000】 | 【100,000】 |
| うち がんリハ | 【11,900】<br>8,311 | 【12,000】<br>8,382 | 【8,100】   | 【8,100】   |

# 1 市民病院

## ■地域医療全体への貢献

<目標と実績>

| 具体的な目標・達成項目     | 6年度実績  | 7年度目標              | 7年度実績  | 自己評価 |
|-----------------|--------|--------------------|--------|------|
| 紹介率（％）          | 79.0   | 76.0               | 81.2   | A    |
| 逆紹介率（％）         | 105.7  | 96.0               | 110.9  | A    |
| 入退院支援加算算定件数（件）  | 17,652 | 16,900<br>【13,000】 | 18,562 | A    |
| 入院時支援加算算定件数（件）  | 8,721  | 8,050<br>【7,200】   | 9,884  | A    |
| 市民病院ネット参加機関数    | 96     | 80                 | 96     | A    |
| 市民病院ネット登録患者数（人） | 452    | 450【950】           | 508    | A    |
| 職員の講師派遣件数（件）    | 441    | 510                | 467    | C    |
| 地域関係機関向け研修回数（回） | 45     | 55【32】             | 55     | B    |

# 1 市民病院

## ■地域医療全体への貢献

- ・紹介率（A）：患者の利便性向上のため、LINEを活用した初診予約システムを導入
- ・入退院支援加算算定件数（A）、入院時支援加算算定件数（A）：入院時支援に「説明用動画サービス」を導入。アンケート結果は、94%の患者家族から「役に立った」との評価
- ・職員の講師派遣件数（C）：医療局及び関係機関と連携を図り、乳幼児健診や各審査会の委員、地域の医療関係者への講演会等の講師派遣を行ったが、目標は未達。今後は、適切な診療体制の確保と地域への貢献を図る。

# 横浜市立病院経営評価委員会からの主な意見



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

## 1 市民病院

### ■地域医療全体への充実

- ・ 紹介率・逆紹介率ともに目標を上回り、具体的な取組が成果につながっている点を高く評価
- ・ 入退院支援を含め、多くの指標で目標を達成していることを評価
- ・ 地域医療機関との連携強化とともに患者の利便性向上が進んでいることを評価
- ・ L I N E 予約システムは患者の受診行動の障壁を下げる有効な取組として評価
- ・ 地域への講師派遣や研修開催を通じた更なる貢献に期待
- ・ 新たな取組については効果の定量的な把握を要望

# 1 市民病院

## ■経営力の強化

<目標と実績①>

| 具体的な目標・達成項目 | 6年度実績  | 7年度目標              | 7年度実績  | 自己評価 |
|-------------|--------|--------------------|--------|------|
| 新規入院患者数（人）  | 19,823 | 20,500<br>【20,200】 | 20,224 | B    |
| 新規外来患者数（人）  | 30,120 | 32,000             | 27,816 | C    |
| 手術件数（件）     | 7,450  | 7,600              | 7,687  | B    |
| 医業収益（百万円）   | 29,269 | 29,879             | 30,718 | B    |
| 医業収益比率（%）   | 89.0   | 93.0               | 89.9   | B    |
| 修正医業収支比率（%） | 88.4   | 92.3               | 89.2   | B    |
| 経常収支（百万円）   | △1,377 | 112                | △518   | C    |
| 経常収支比率（%）   | 95.9   | 100.3              | 98.5   | C    |

※令和7年度決算関連数値は税込み数値です。

# 1 市民病院

## ■経営力の強化

<目標と実績②>



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

| 具体的な目標・達成項目 | 6年度実績      | 7年度目標             | 7年度実績      | 自己評価 |
|-------------|------------|-------------------|------------|------|
| 医療安全に係る研修   | 37項目       | 20項目以上            | 39項目       | A    |
| 柔軟な勤務形態の導入  | 柔軟な勤務体制の拡大 | 対象職種・勤務形態の拡大検討・導入 | 柔軟な勤務体制の拡大 | B    |
| 入院患者満足度（％）  | 83.3       | 91.0              | 91.0       | B    |
| 外来患者満足度（％）  | 75.3       | 82.0              | 77.4       | C    |

# 1 市民病院

## ■経営力の強化

- ・新規外来患者数（C）：救急搬送等の減少により、前年度実績から減少。  
引き続き地域医療機関訪問を強化し、地域との顔の見える関係性を構築
- ・経常収支（D）及び経常収支比率（C）：対前年度比では、約8億6千万円の収支改善したものの物価高騰や人件費高騰の影響を大きく受け、  
経常収支は5億1千8百万円の赤字（経常収支比率98.5%）  
引き続き、運営体制や職員意識を変革するなど、あらゆる努力を行うとともに、診療報酬請求の精度向上などの基本動作の徹底や令和8年診療報酬改定への確実かつ迅速な対応により収益確保を強化  
加えて、高騰が続く医薬品及び診療材料の使用方法の見直しや業務効率化による超過勤務時間の削減等により、経費削減を一層強化

# 1 市民病院

## ■経営力の強化

- ・医療安全に係る研修（A）：中心静脈カテーテルに関する安全管理（CVC）研修等を実施するとともに、耳鼻科医師や呼吸療法サポートチーム（RST）と連携し、気管切開と永久気管孔の研修を新たに実施
- ・入院患者満足度（B）：病棟の看護師をはじめ、全職員による取組の結果、プラン期間中初めて目標を達成
- ・外来患者満足度（C）：外来待ち時間減少に向けた逆紹介の推進などに取り組み前年度より向上。引き続き、症状の落ち着いた患者の逆紹介を強化

# 横浜市立病院経営評価委員会からの主な意見



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

## 1 市民病院

### ■経営力の強化

- ・ 収支改善と医業収益の目標達成は評価できる成果
- ・ 病床稼働率低下の中で単価上昇に依存した増収には持続性への懸念
- ・ 新規入院患者数の拡大は喫緊の課題との認識を共有
- ・ 前方連携の取組を具体的指標に落とし込んだ進捗管理を期待
- ・ 入院患者満足度の目標達成は病棟単位の改善活動の成果として高く評価
- ・ 評価基準の解釈に病院間で差異が見られ、運用ルールの明確化・統一化を要望（※）

（※）事務局：会議当日資料にて修正対応しました。

# 1 市民病院

## ■人材育成

<目標と実績>



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

| 具体的な目標・達成項目              | 6年度実績                         | 7年度目標          | 7年度実績 | 自己評価 |
|--------------------------|-------------------------------|----------------|-------|------|
| 職員やりがい度（%）<br>【職員満足度（%）】 | 68.9                          | 71.0<br>【41.0】 | 72.5  | B    |
| 正規雇用看護職員の離職率（%未満）        | 7.5                           | 10.0           | 7.8   | A    |
| キャリアアップ支援制度の創設           | 制度構築<br>（既存制度<br>の見直し・<br>拡大） | 実施             | 実施    | B    |

# 1 市民病院

## ■人材育成

- ・職員やりがい度（B）：前年度の調査結果を踏まえ、事務改善等に取り組んだ結果、総合評価を含む各項目が前年度より向上し、プラン期間中初めて目標を達成
- ・正規雇用看護職員の離職率（A）：令和6年度に新入職員のフォローアップ研修を2回から3回に増やしたことなどにより、低い離職率を維持
- ・キャリアアップ支援制度（B）：令和6年度に統合した医療局資格取得支援制度に基づき、職員の資格取得に向けた支援を実施

# 横浜市立病院経営評価委員会からの主な意見



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

## 1 市民病院

### ■人材育成

- ・ 職員やりがい度の改善を評価
- ・ 超過勤務対策や職員の声を改善につなげる仕組みが機能している点を評価
- ・ 看護職員の離職率が低水準を維持していることを高く評価
- ・ フォローアップ研修等による早期離職防止の継続に期待
- ・ 職場環境改善を通じた職員やりがい度向上を期待

## 2 脳卒中・神経脊椎センター ■令和7年度振り返り実績



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

| 7年度<br>振り返り実績 | 項目<br>数 | 評価 |    |    |   |
|---------------|---------|----|----|----|---|
|               |         | A  | B  | C  | D |
| 医療機能の充実       | 16      | 2  | 7  | 7  | 0 |
| 地域医療全体への貢献    | 8       | 2  | 4  | 2  | 0 |
| 経営力の強化        | 17      | 2  | 5  | 10 | 0 |
| 人材育成          | 2       | 0  | 1  | 1  | 0 |
| 合 計           | 43      | 6  | 17 | 20 | 0 |

### 【点検・評価の基準】

A:年度目標を大幅に上回る成果あり又は当初のスケジュールを大幅に短縮して実現

B:年度目標を概ね達成(件数等は5%の範囲内)

C:年度目標を達成できず又は当初のスケジュールから遅れ

D:年度目標を大幅に下回る又は当初のスケジュールから大幅に遅延

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実

### ○急性期から回復期まで一貫した専門性の高い医療の提供

<目標と実績①>



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

| 具体的な目標・達成項目                   | 6年度実績 | 7年度目標            | 7年度実績 | 自己評価 |
|-------------------------------|-------|------------------|-------|------|
| 救急車搬送患者数（人）                   | 2,234 | 2,120<br>【1,920】 | 2,275 | A    |
| t-PA静注療法実施件数（件）               | 34    | 45<br>【50】       | 29    | C    |
| 経皮的脳血栓回収術（K178-4）<br>実施件数（件）  | 51    | 55               | 35    | C    |
| 脳血管内手術（K178）実施件数（件）           | 28    | 25<br>【30】       | 11    | C    |
| 脳動脈瘤頸部クリッピング（K177）<br>実施件数（件） | 21    | 25<br>【26】       | 21    | C    |

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実

### ○急性期から回復期まで一貫した専門性の高い医療の提供

<目標と実績②>

| 具体的な目標・達成項目                       | 6年度実績 | 7年度目標 | 7年度実績 | 自己評価 |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|------|
| 回復期リハビリテーション病棟1日当たり患者数（人）         | 95.6  | 100   | 96.7  | B    |
| リハビリテーション開始までの日数（日以内）             | 1.4   | 1.4   | 1.4   | B    |
| 回復期リハビリテーション病棟に対する院内からの新規入棟患者率（%） | 63.7  | 60.0  | 51.7  | C    |
| 回復期病床における在宅復帰率（%）                 | 81.3  | 80.0  | 77.0  | B    |
| 回復期リハビリテーション病棟におけるアウトカム評価（実績指数）   | 44.8  | 50.0  | 52.9  | A    |

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実

### ○急性期から回復期まで一貫した専門性の高い医療の提供

<目標と実績③>

| 具体的な目標・達成項目    | 6年度実績                      | 7年度目標                      | 7年度実績                      | 自己評価 |
|----------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|------|
| 病院機能評価受審に向けた取組 | 令和6年11月<br>受審<br>(補充的審査あり) | 補充的審査<br>及び<br>改善取組<br>の継続 | 補充的審査<br>及び<br>改善取組の<br>継続 | B    |
| 入院患者満足度 (%)    | 79.8                       | 87.0<br>【89.0】             | 75.2                       | C    |
| 外来患者満足度 (%)    | 78.8                       | 82.0<br>【84.0】             | 74.6                       | C    |

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実

#### ○急性期から回復期まで一貫した専門性の高い医療の提供

- ・救急車搬送患者数（A）：高齢者の救急搬送にも積極的に対応するなど  
「断らない救急」を実践しつつ、救急隊向け脳卒中勉強会を開催するなど  
連携強化にも継続して取り組み、過去最多の救急車を受入

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実

#### ○急性期から回復期まで一貫した専門性の高い医療の提供

- ・ t-PA静注療法実施件数（C）、経皮的脳血栓回収術実施件数（C）、脳血管内手術実施件数（C）、脳動脈瘤頸部クリッピング実施件数（C）  
：脳卒中患者は令和7年607人と前年より+36人増加し、脳卒中医療における市内トップクラスの実績を維持

脳卒中患者への入院治療件数は増えているものの、治療適応の評価の変化や患者の状況に応じ、予後改善に最適な治療内容（※）を選択し提供した結果、指標とする項目については目標未達

（※） t-PA療法をあえてせず早期に血管内治療を開始、細い脳動脈閉塞に対する機械的血栓回収療法適応の最新の知見に基づく最適化など

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実

#### ○急性期から回復期まで一貫した専門性の高い医療の提供

- ・回復期リハビリテーション病棟に対する院内からの新規入棟患者率  
（C）：在宅復帰率など施設基準の各指標と病床利用率を維持・管理しながら病床の運営に努めたものの、院内転棟患者の割合が減少し、目標未達だが、一方で、他院からの新入院患者数は増加傾向
- ・回復期リハビリテーション病棟におけるアウトカム評価（A）：  
リハビリテーション科を中心に整形外科や脳神経内科・脳神経外科と回復期リハビリテーション病棟に関連する看護師、MSWやセラピストが連携し、ADL向上と在棟期間の管理に努め、目標達成

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実

#### ○急性期から回復期まで一貫した専門性の高い医療の提供

- ・入院患者満足度（C）、外来患者満足度（C）：入院患者満足度・外来患者満足度ともに、「ふつう」評価に中間寄りする傾向があり、満足度は低下、合わせて不満足度も低下するも目標未達
- 一方で「病院を親しい人にもすすめる」項目は、入院が81.2%と前年度より+2.8ポイント向上、外来が77.6%と+6.4ポイント向上
- 入院の「食事」は満足度53.0%と前年度比+5.6ポイント向上するも、他病院との比較ではまだ低く、引き続きメニューの見直しなど、改善を継続

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実

#### 〇口コミ及びフレイル対応等、市民の健康寿命延伸に向けた取組

<目標と実績>

| 具体的な目標・達成項目                     | 6年度実績 | 7年度目標            | 7年度実績 | 自己評価 |
|---------------------------------|-------|------------------|-------|------|
| 整形外科新規外来患者数（人）                  | 1,426 | 1,430<br>【1,323】 | 1,418 | B    |
| 整形外科手術（手術室）件数（件）                | 657   | 660<br>【582】     | 639   | B    |
| フレイル関連外来（もの忘れ外来・めまい診療※）延べ患者数（人） | 5,709 | 5,750<br>【1,295】 | 5,623 | B    |

※令和6年度から症状名として「めまい」とされているもののほか、めまいを伴う他の症状（メニエール病／症候群等）の件数も算入。



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実

#### ○口コミ及びフレイル対応等、市民の健康寿命延伸に向けた取組

- ・整形外科新規外来患者数（B）、整形外科手術件数（B）： 500件/年を超える脊椎手術の実績を踏まえ、目標を上方修正した中、7年度実績としては前年度同水準を維持し、目標を概ね達成
- ・フレイル関連外来（B）：専門外来の診療内容や受診方法などの情報提供を分かりやすく充実させ、目標を概ね達成

# 横浜市立病院経営評価委員会からの主な意見

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実

- ・「断らない救急」の徹底により過去最多の救急車搬送患者受入れを達成したことを高く評価
- ・脳卒中医療において市内トップクラスの実績維持を評価
- ・急性期から回復期まで一貫した専門医療の提供を評価
- ・一部の急性期治療指標については目標未達の要因分析と説明を求めたい
- ・医療実態に即した指標体系の再検討を要望
- ・入院・外来患者満足度の低下を懸念



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

# 横浜市立病院経営評価委員会からの主な質問と回答

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

- |          |                                                                                                                                                                                                                               |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>問</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ t-PA静注療法、経皮的脳血栓回収術、脳血管内手術の実施件数が減少しているのは、適応患者数の減少によるものか。</li><li>・ 専門性の高い治療や手術が目標を大きく下回っているにもかかわらず、なぜ方針変更を反映した目標設定としなかったのか。</li></ul>                                                  |
| <p>答</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 当院の脳卒中患者総数は増加していますが、急性期治療は近年大きく変化しており、その結果、指標としている治療法の適応患者数が減少しました。</li><li>・ 2025年2月の国際学会等で、中血管・末梢血管閉塞に対する血管内治療の有効性が示されなかったことから、血栓回収療法の対象だった症例にも薬物治療が選択されるなど、治療方針が変化しています。</li></ul> |

# 横浜市立病院経営評価委員会からの主な質問と回答

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■医療機能の充実



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

答 ・こうした最新知見が診療実績に与える影響を具体的な件数として事前に見込むことは困難でした。このため、学会報告から1年が経過し実績を踏まえた上で、令和8年度から「脳卒中入院患者数」及び「mRS0-2で退院する割合」を新たな指標として追加しました。

単位：件、% 下段は実績、上段【 】内は目標（新規）

|               | R6    | R7    | R8      | R9      |
|---------------|-------|-------|---------|---------|
| 脳卒中入院患者数      | 571   | 607   | 【610】   | 【620】   |
| mRS0-2で退院する割合 | 45.5% | 49.9% | 【50.0%】 | 【50.0%】 |

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■地域医療全体への貢献

### ○地域包括ケア病棟を基軸とした地域包括ケアシステムにおける貢献

<目標と実績>

| 具体的な目標・達成項目                        | 6年度実績 | 7年度目標          | 7年度実績 | 自己評価 |
|------------------------------------|-------|----------------|-------|------|
| 地域包括ケア病棟病床稼働率（％）                   | 91.4  | 92.0<br>【88.0】 | 83.2  | C    |
| 自宅等で急性増悪した患者<br>（サブアキュート患者）受入人数（人） | 223   | 225<br>【156】   | 234   | B    |
| 急性期後患者（ポストアキュート患者）<br>受入人数（人）      | 328   | 330<br>【146】   | 315   | B    |

※サブアキュート：在宅や介護施設等で症状が急に悪化した状態

※ポストアキュート：急性期での治療後も引き続き入院医療を要する状態

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■地域医療全体への貢献

#### ○地域包括ケア病棟を基軸とした地域包括ケアシステムにおける貢献

- ・地域包括ケア病棟病床稼働率（C）：円滑・迅速な受入体制を維持したものの、特に年度前半における周辺急性期医療機関からの後方搬送患者の受入が減少し、病床稼働率の目標未達
- ・サブアキュート患者受入人数（B）：地域の医療・介護・福祉施設との連携強化、特に社会的ニーズの高い重症心身障害児者施設と緊密な関係を築き医療支援を強化したことによる受入増（延べ27人の受入、前年度比+13人）などにより目標を概ね達成
- ・ポストアキュート患者受入人数（B）：高度急性期病院への訪問や院内でのスムーズな受入フローを作成し後方搬送患者の受入促進を図り、目標を概ね達成

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■地域医療全体への貢献

### ○市民啓発活動の推進、地域医療・介護人材の育成に向けた取組

<目標と実績>

| 具体的な目標・達成項目                    | 6年度実績 | 7年度目標 | 7年度実績 | 自己評価 |
|--------------------------------|-------|-------|-------|------|
| 医療知識普及・啓発のための市民向け講演会実施回数（回）    | 2     | 2     | 2     | B    |
| 地域医療従事者向け研修・勉強会等実施回数（回）        | 13    | 10    | 10    | B    |
| 講演会講師としての職員派遣延べ件数（件）           | 4     | 3     | 5     | A    |
| 医療従事者養成機関における講師としての職員派遣延べ件数（件） | 222   | 110   | 199   | A    |
| 臨床実習生延べ受入人数（人）                 | 310   | 300   | 193   | C    |

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■地域医療全体への貢献

#### ○市民啓発活動の推進、地域医療・介護人材の育成に向けた取組

- ・市民向け講演会実施回数（B）：市民啓発講演会を2回開催し、延べ369人の参加
- ・臨床実習生延べ受入人数（C）：各部門で各種学校の教育課程における臨地実習に係る実習生を積極的に受け入れるも、前年度100人を超える実習生を受け入れた看護養成学校からの実習見送りにより目標未達

# 横浜市立病院経営評価委員会からの主な意見

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■地域医療全体への貢献

- ・ 地域包括ケア病棟の稼働率低下については、下り搬送患者の確保が課題であり、当日連絡フロー等の取組について効果検証を求めたい
- ・ 急性期病院からの後方搬送患者受入れ強化を期待
- ・ サブアキュート患者や神経難病患者の受入れなど後方支援病院としての役割発揮を評価
- ・ 医療・介護施設との連携強化による更なる受入れ拡大を期待
- ・ 地域医療従事者の教育への継続的な貢献を評価



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■経営力の強化

### ○増収による持続的な経常利益の確保

<目標と実績①>



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

| 具体的な目標・達成項目                           | 6年度実績  | 7年度目標            | 7年度実績  | 自己評価 |
|---------------------------------------|--------|------------------|--------|------|
| 新規入院患者数【リハビリテーション科を除く】<br>(人) (※)     | 2,970  | 2,910<br>【3,101】 | 2,770  | B    |
| うち紹介による新規入院患者数<br>【リハビリテーション科を除く】 (人) | 1,055  | 1,082<br>【938】   | 857    | C    |
| うち外来からの新規入院患者数<br>【リハビリテーション科を除く】 (人) | 898    | 911<br>【947】     | 923    | B    |
| 入院診療単価 (円、税込) (※)                     | 62,128 | 64,153           | 61,506 | B    |
| 病床稼働率 (%)                             | 84.0   | 91.3<br>【86.9】   | 82.4   | C    |
| うち急性期一般病床病床稼働率 (%) (※)                | 72.2   | 85.4             | 71.5   | C    |

※7年度より目標変更：新規入院患者数関連目標数値よりリハビリテーション科を除く、入院診療単価、急性期一般病床稼働率の目標新設

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■経営力の強化

### ○増収による持続的な経常利益の確保

<目標と実績②>

| 具体的な目標・達成項目                       | 6年度実績 | 7年度目標                | 7年度実績 | 自己評価 |
|-----------------------------------|-------|----------------------|-------|------|
| 手術（手術室・血管撮影室）件数（件）                | 974   | 990<br>【891】         | 923   | C    |
| 医業収益<br>（税込、一般会計繰入金除く、百万円）        | 6,372 | 7,095<br>【6,891】     | 6,252 | C    |
| 材料費対医業収益（一般会計繰入金除く）<br>比率（税込、%未満） | 24.5  | 23.0                 | 24.7  | C    |
| 経常収支（税込、百万円）                      | △334  | <sup>1</sup><br>【21】 | △451  | C    |
| 経常収支比率（税込、%）                      | 96.4  | 100.2                | 95.3  | C    |

※令和7年度決算関連数値は税込み数値です。



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■経営力の強化

#### ○増収による持続的な経常利益の確保

- ・新規入院患者数（B）、うち外来からの新規入院患者数（B）：地域医療機関を訪問するなど連携強化を図り、病院全体における新規入院患者数は2,986人と前年度より16人増加し、リハビリテーション科を除いた新規入院患者数は目標を概ね達成
- ・手術件数（C）：夏期に血管撮影装置の更新による中断期間もあり、主に脳血管内カテーテル手術の減少

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■経営力の強化

### ○施設・設備の長寿命化及び計画的な更新

<目標と実績>

| 具体的な目標・達成項目  | 6年度実績               | 7年度目標         | 7年度実績          | 自己評価 |
|--------------|---------------------|---------------|----------------|------|
| 病院保全・更新計画の更新 | 受変電設備に係る長期設備改修計画を作成 | 計画に基づく施設・設備整備 | 整備計画の見直しと計画の策定 | B    |
| 修繕費（百万円以内）   | 64                  | 55<br>【70】    | 49             | A    |
| 建設改良費（百万円以内） | 1,451               | 729<br>【450】  | 579            | A    |

※令和7年度決算関連数値は税込み数値です。



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■経営力の強化

#### ○施設・設備の長寿命化及び計画的な更新

- ・病院保全・更新計画の更新（B）：保全更新計画の見直しを実施しつつ、必要な設備更新を計画的に実施
- ・修繕費（A）：高額医療機器の保守契約を見直し、医療機器の高額修繕を抑制

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■経営力の強化

### ○デジタル技術の活用等による働き方改革の推進

<目標と実績>

| 具体的な目標・達成項目                          | 6年度実績                  | 7年度目標                  | 7年度実績                  | 自己評価 |
|--------------------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------|
| 医師の働き方改革に向けた取組                       | 時間外労働<br>年間960時間<br>以内 | 時間外労働<br>年間960時間<br>以内 | 時間外労働<br>年間960時間<br>以内 | B    |
| 修正医業収支（一般会計繰入金除く）<br>比率（税込、%）        | 70.2                   | 74.3                   | 67.1                   | C    |
| 給与費・経費対医業収益（一般会計繰<br>入金除く）比率（税込、%未満） | 108.3                  | 101.1                  | 111.7                  | C    |



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

※決算関連数値は税込み数値です。

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■経営力の強化

#### ○デジタル技術の活用等による働き方改革の推進

- ・ 医師の働き方改革に向けた取組（B）：スマートフォンによるチャットツールの利用頻度増加等によるコミュニケーション活性化など病院DX戦略に基づく職員の業務負担の軽減等により概ね目標達成
- ・ 給与費・経費対医業収益比率（C）：給与改定による給与費の増加、賃金水準上昇に伴うスライド条項適用に伴う委託料の増加等により、医業収益に対する給与費・経費の比率は上昇し、目標未達

# 横浜市立病院経営評価委員会からの主な意見

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■経営力の強化

- ・病床稼働率の低迷を背景とした収益構造悪化を強く懸念
- ・目標修正後も未達が続く状況を踏まえ、目標設定の妥当性検証を要望
- ・次期中期プランではセンターの役割や指標体系そのものの再検証が必要との問題提起
- ・設備更新計画と整合した評価指標への見直しを提言
- ・地域診療所への働きかけ強化による紹介患者確保を期待
- ・評価基準適用ルールの不統一について改善を要望（※）

（※）事務局：会議当日資料にて修正対応しました。



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■人材育成・活力ある職場づくりに向けた取組



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

<目標と実績>

| 具体的な目標・達成項目              | 6年度実績 | 7年度目標          | 7年度実績 | 自己評価 |
|--------------------------|-------|----------------|-------|------|
| 職員やりがい度（％）<br>【職員満足度（％）】 | 70.6  | 74.0<br>【63.0】 | 67.9  | C    |
| 正規雇用看護職員の離職率（％未満）        | 8.8   | 10.0           | 8.2   | B    |

## 2 脳卒中・神経脊椎センター

### ■人材育成・活力ある職場づくりに向けた取組

- ・職員やりがい度（C）：指標として採用している項目「現在の仕事にやりがいがある」の満足度は、67.9%で前年度比△2.7ポイント悪化、他病院比較で+1.7ポイント高くなるも、目標には未達  
総合評価「全体としてこの病院で働いていることに満足している」は、61.5%と前年度比+0.1ポイント上昇
- ・正規雇用看護職員の離職率（B）：新採用者向けの研修だけでなく、ジェネラリスト看護師向けの研修を充実させ、職員個々の役割を明確化しキャリア形成支援をすることなどにより目標は概ね達成

## 横浜市立病院経営評価委員会からの主な意見

### 2 脳卒中・神経脊椎センター

#### ■人材育成・活力ある職場づくりに向けた取組

- ・ 職員やりがい度の低下に懸念
- ・ 特に勤務条件への満足度低下を注視する必要性
- ・ 経営悪化が人材流出や稼働率低下につながる悪循環を懸念
- ・ 患者説明動画や音声自動要約ツール等の業務負担軽減策を評価
- ・ 実証実験にとどまらない本格導入と効果の見える化を期待



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

# 横浜市立みなと赤十字病院の 指定管理業務実施状況についての振り返り

令和8年8月

横浜市医療局病院経営本部

# 1 全体評価①

## ○実施状況

- ・ 毎年、基本協定及び基準書等に基づいて、指定管理業務の遂行状況について点検・評価を実施
- ・ 令和7年度は、点検評価対象130項目全ての項目について、基本協定及び基準書等に基づいて適切に指定管理業務を実施

## ○政策的医療の実施

- ・ 救急医療：全国トップクラスの救急車搬送による受入患者数を維持
- ・ アレルギー疾患医療：令和7年度は新たに市民向けイベントとして「こどもの食物アレルギー市民フォーラム」を開催

## ○指定管理者独自の取組 ※点検・評価対象外

- ・ 自動搬送ロボットの導入
- ・ Web予約システム、診療費後払いシステムの導入

## 1 全体評価②

### ○地域医療全体の質の向上に向けた取組

- ・紹介件数（24,395件、前年比340件増）
- ・逆紹介件数（29,294件、前年比2,051件増）

→ともに過去最高件数を達成

### ○経営面 ※点検・評価対象外

診療単価の前年比増、日本赤十字社における退職給付会計の処理に伴い引当金が約10億円減少したこと等により、令和7年度経常収支は約5億円の黒字

### ○秘密の保持

個人情報管理に関し、不適切な事象が発生したものの、事象の検証及び再発防止対策の策定など、適切に対処

## 2 項目別評価①



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

| 項目                                                                                                                                      | 項目数 | 評価                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 診療に関する取組（基本協定第13条）                                                                                                                  | 2   | ・ 規定どおりに実施していると認める                                                                         |
| (2) 検診に関する取組（基本協定第14条）                                                                                                                  | 2   | ・ 規定どおりに実施していると認める                                                                         |
| (3) 政策的医療に関する取組（基本協定第15条）<br>【政策的医療】24時間365日の救急医療、小児救急医療、<br>二次救急医療、周産期救急医療、精神科救急医療、<br>精神科合併症医療、緩和ケア医療、アレルギー疾患医療、<br>障害児（者）合併症医療、災害時医療 | 60  | ・ 規定どおりに実施していると認める<br>・ 救急医療は救急車搬送による受入患者数が全国トップクラスであり、救急車受入率も97.3%となっているなど、継続して高い成果をあげている |
| (4) 地域医療全体の質の向上に向けた役割に関する取組<br>（基本協定第16条）                                                                                               | 33  | ・ 着実に実行していると認める<br>・ 紹介件数、逆紹介件数ともに過去最高件数を達成<br>・ 軽微なインシデントも含め適切に報告する風土を形成していただきたい          |
| (5) 利用料金に関する取組（基本協定第17条）                                                                                                                | 9   | ・ 規定どおりに実施していると認める                                                                         |
| (6) 施設、設備等の維持管理（基本協定第18条）<br>管理の原則（基本協定第19条）<br>(7) 施設等の改良、改修及び保守・修繕（基本協定第20条）<br>に関する取組                                                | 16  | ・ 規定どおりに実施していると認める                                                                         |

## 2 項目別評価②



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

| 項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 項目数 | 評価                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (8) 物品の移設（基本協定第21条）<br>物品の管理（基本協定第22条）に関する取組                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 4   | ・ 規定どおりに実施していると認める                                                                                                                                                                                  |
| (9) 目的外使用に関する取組（基本協定第23条）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1   | ・ 規定どおりに実施していると認める                                                                                                                                                                                  |
| (10) 受託研究に関する取組（基本協定第24条）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2   | ・ 規定どおりに実施していると認める                                                                                                                                                                                  |
| (11) 院内学級に関する取組（基本協定第25条）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1   | ・ 規定どおりに実施していると認める                                                                                                                                                                                  |
| <p>※秘密の保持（基本協定第7条）</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年9月に患者の検査結果を誤交付する事案が発生</li> <li>・ 事案発生後、原因分析と再発防止策の検討を実施</li> </ul> <p>【再発防止策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付時の本人確認徹底を遵守するよう全職員に向けて周知</li> <li>・ 新入職員向けに、4月の入社式内及びオリエンテーション内で個人情報保護に関する研修を実施</li> <li>・ 全職員向けに、令和7年12月に個人情報の適正な取扱いにかかる研修を実施し、より個人情報の取り扱いに関して周知を実施</li> </ul> |     | <p>※点検・評価130項目には含まず</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秘密の保持について、その遵守が徹底されていない事案が発生したが、その後、事案の検証及び再発防止策の策定などを実施し、本市に対し、その内容を報告</li> <li>・ 報告内容も勘案し、<u>おおむね規定どおりに対応していると認める</u></li> </ul> |

## 横浜市立病院経営評価委員会からの主な意見 みなと赤十字病院 指定管理業務実施状況についての振り返り



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

- ・点検評価対象130項目すべてが適切に実施されていることを高く評価
- ・政策医療の充足度を評価できる新たな評価指標の検討を提言
- ・全国トップクラスの救急受入実績を維持していることを高く評価
- ・紹介・逆紹介件数の過去最高達成など地域医療への貢献を評価
- ・経常黒字の評価に当たっては医業収支の動向にも注視が必要との指摘
- ・個人情報事案の再発を重く受け止め、仕組みによる再発防止策を求めたい

## 横浜市立病院経営評価委員会からの主な質問と回答 みなと赤十字病院



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

### 指定管理業務実施状況についての振り返り

**問** 個人情報管理について、個々人の情報リテラシー向上のための取り組み、研修、迅速な報告体制の整備等、具体的な対策について教えてください

**答** 個々の職員の情報リテラシー向上については、

- ・ 新入職員に対する入職時オリエンテーション及び新人研修会内での研修
- ・ 中途採用職員には採用時の研修動画視聴、
- ・ 派遣・委託職員を含む全職員を対象に、年1回e ラーニング研修を実施

## 横浜市立病院経営評価委員会からの主な質問と回答 みなと赤十字病院 指定管理業務実施状況についての振り返り



明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

答 （続き）事故発生時には

- ・ 発見者が所属長へ速やかに報告し、所属長から総務課へ報告
- ・ 日本赤十字社のルールに基づき24 時間以内に本社へ報告する体制を整備
- ・ 要配慮個人情報を含む事案等については、国の個人情報保護委員会への報告を適切に実施